



～現実をみつめ、未来を紡ごう～ 「生きる力」を育む「学び」の創造



2018年度 第2回研究部会

府立人研だより

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2018年9月18日 第10号 発行

10月5日（金）午後2時より 市岡高校にて開催

大阪メトロ・JR環状線「弁天町」駅より東南東へ約400m ★お願い **名札と上履き**をご持参ください。

教材	進路保障	ケーススタディ
<p data-bbox="156 607 539 703">「出会い」と「居場所」の大改革！</p> <p data-bbox="124 734 558 1077">今回は、HR や生徒の居場所づくりのフレームを大胆に変える取り組みを2つ報告します。1つめの報告のかわち野高校では性的マイノリティー当事者である講師6名を招き、複数の方の経験や想いをクラス単位で聴くという取り組みをされました。生徒たちや先生方の様子、事前学習の教材などについてご紹介いただきます。</p> <p data-bbox="124 1081 558 1491">もう1つの報告は、平野高校の課外活動「ユニバーサル・エデュケーション」です。学習面だけでなく、人との関わりにしんどさを感じている生徒たちに声をかけて、毎日放課後に、アイスブレイクやボードゲーム、学習活動、さらには釣りやBBQといった校外活動など、生徒たちが安心できる、楽しいと思える場を作られています。活動を通しての生徒の成長や、先生方の気づきをお聞かせいただきます。</p> <div data-bbox="134 1503 555 1547" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人権教材交流会！</div> <p data-bbox="124 1552 558 1895">大好評の人権教材持ち寄り交流会。作成にあたっての問題意識や工夫も聞くことができます。各校の人権教育方針や、昨年取り組まれた教材等をぜひお持ちください。これ使えるかも？ というような「新聞記事」「ドラマ」「マンガ」等の素材の紹介も大歓迎です。 ※印刷して40部お持ち寄りください。 例：「ケータイがもめごとのタネにならないうちに」・「文化祭における女装 男装について」</p>	<p data-bbox="592 591 999 707">進路保障のあり方② 国立大学法人 奈良女子大学の取り組みから考える</p> <p data-bbox="580 734 1011 871">今回の進路保障部会では、女性の貧困、女性の社会進出、女性の人権・キャリア教育について取り上げます。</p> <p data-bbox="580 875 1011 1146">はじめに、奈良女子大学理事・副学長の小川英巳さんより、奈良女子大学の設立の経緯や今日における女子大の意義について、また先日、メディアで報道のあった、お茶の水女子大学が2020年にトランスジェンダー※の学生の受け入れについてもお話させていただきます。</p> <p data-bbox="580 1151 1011 1391">続いて、同大学教授でトランスジェンダーの学生受け入れワーキンググループメンバーでもある高岡尚子さんより、奈良女子大学の沿革と女性の社会進出の歴史、就業の変化や現状とその課題についてお話させていただきます。</p> <p data-bbox="580 1395 1011 1458">後半は、各校の取り組みの紹介や情報交換会を予定しております。</p> <p data-bbox="580 1462 1011 1563">府立学校にとって、国立女子大の取り組みを知ることのできる貴重な機会になると思います。</p> <p data-bbox="580 1568 1011 1704">生徒一人一人が安全で安心な学校生活を送れるよう、この機会に一緒に考えてみませんか？ お待ちしております。</p> <p data-bbox="580 1709 1011 1787">※身体の性別とは異なる性別を生きる（生きたいと望む）人たちの総称。</p> <p data-bbox="580 1792 1011 1895">【↑府立人研 性差別撤廃教育チームリーフレット「自分らしく学べる教室にするためにできるちょっとした工夫」2016.05より】</p>	<p data-bbox="1094 602 1406 692">ケース会議からのアプローチ</p> <p data-bbox="1034 734 1469 1597">困難な状況にある生徒を「卒業」につなげていくために、教職員としてどのような支援をしていけばいいのか、悩んでいる方も多いと思います。皆さんは「ケース会議」という言葉を聞いたことがありますか？ 校内で「ケース会議」を開いて生徒支援を考える場合、誰が参加するのでしょうか？ 校内関係者だけですか？ 円滑に進めるには？ 小さな疑問から大きな疑問まで、さまざまな疑問が出てくると思います。そこで「ケース会議」に焦点を当てて、次の2校より報告をいただきます。北淀・淀川清流高校では、会議で出た内容をどんな外部機関にどのようにつないでいくか、また、外部の方を招く時どこまでの範囲にするかなど具体的に話していただき、最近の事例を紹介していただきます。また、東淀川高校では、生徒情報を見える化し、共有することで、教員の生徒に対する理解がより進み、生徒への支援の方向性が明確になったそうです。</p> <p data-bbox="1034 1601 1469 1910">今回は、両校のノウハウを教えてくださいと共、事例をもとにケース会議を体験していただき、参加者のみなさんと共有する機会にしたいと思います。経験の少ない教職員の方から経験の多い教職員の方まで、広く参加していただき、生徒の支援のあり方について考えていきたいと思っております。</p>



大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号 府立柴島高等学校内

※通送便には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) E-mail furitsujinken@nifty.com

ホームページ <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。